

次号
特集

不整脈2

我々、総合内科医にとって、循環器疾患は苦手意識があります。多くの都会の大病院では、内科は専門科の縦割りであり、総合内科研修中ですら、循環器疾患への曝露が少ないという印象があります。特に不整脈に関しては、第一に心電図に対し苦手意識をもち、「不整脈は循環器専門医にお任せ」となりがちではないでしょうか。

心房細動患者は、日本に80万人いるともいわれ、今後も増える予想されます。循環器専門医の数は、1.3万人です。この超高齢社会を乗り切るためには、総合内科医も循環器医の助けを適宜借りながら、ある程度（しかも、高くオリティで）心房細動診療にあたっていくことが求められます。

今回は、さまざまなトピックスがある不整脈を2回の特集に分けることにしました。Part 1では主に「上室性不整脈」を扱いました。Part 2では「心室性不整脈、徐脈性不整脈」を扱います。総合内科医はさまざまな場面で働くことを求められます。循環器医が常駐する病院、常駐しない病院、内科クリニック、救急室、集中治療室など、すべての場面で不整脈診療にあたるジェネラリストに、少しでもお役に立つものが提供できれば幸いです。

第1章 頻脈性不整脈: wide QRS tachycardiaをみたら

[コラム1] 多形性心室頻拍とtorsade de pointes

[コラム2] 偶然診断された心室期外収縮 (VPC) のマネジメント

第2章 急性心筋梗塞に合併した心室性不整脈

[コラム3] 急性心筋梗塞後の心臓突然死リスクとICD適応

[コラム4] Wearable Cardioverter Defibrillatorとは何か?

[コラム5] 植込み型除細動器は何をしているのか?

第3章 心臓突然死

第4章 徐脈性不整脈①: 鑑別、初期対応～ペースメーカー留置まで

[コラム6] 心房細動の徐脈頻脈症候群

[ミニコラム1] 薬剤による房室ブロック

第5章 徐脈性不整脈②: ペースメーカー留置後のマネジメント

[コラム7] ペースメーカーと心電図

[ミニコラム2] ペースメーカーやICD感染は原則抜去!

[コラム8] 条件付きMRI対応ペースメーカー, ICD, CRT

[コラム9] 新しいデバイス: リードレスペースメーカー, 皮下植込み型除細動 (S-ICD)

[コラム10] ペースメーカーと心不全

[コラム11] Brugada症候群, 早期再分極症候群

[コラム12] 不整脈患者の自動車運転を制限すべきか?

第6章 緩和ケアにおけるICD機能停止・除去について

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

■ Vol.1 (2013年)

No.1 ホスピタリスト宣言
No.2 感染症

■ Vol.2 (2014年)

No.1 腎疾患
No.2 膠原病
No.3 消化管疾患
No.4 緩和ケア

■ Vol.3 (2015年)

No.1 呼吸器疾患1
No.2 外来における予防医療
No.3 循環器疾患1
No.4 血液疾患

■ Vol.4 (2016年)

No.1 代謝内分泌
No.2 周術期マネジメント
No.3 腫瘍
No.4 他科の知識1

■ Vol.5 (2017年)

No.1 神経内科
No.2 呼吸器疾患2
No.3 感染症2
No.4 老年科

■ Vol.6 (2018年)

No.1 腎疾患2
No.2 糖尿病
No.3 肝胆脾
No.4 心不全

■ Vol.7 (2019年)

No.1 外来マネジメント
No.2 総合内科のための集中治療
No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて
No.4 内科エージェンシー

■ Vol.8 (2020年)

No.1 アレルギー
No.2 画像診断①胸部・縦隔編
No.3 手技
No.4 病棟管理

■ Vol.9 (2021年)

No.1 膠原病2
No.2 内分泌疾患2
No.3 不整脈1
No.4 不整脈2

■ Vol.10 (2022年)

No.1 身体診察

先日、書店にて目的のものを手にしてレジに向かっていたところ、存在感を放つ表紙が視界の隅に入りました。手にとると、ざらざらとした独自の紙の感触で、ずっしりと重みがあり、手に吸い付くようでした。いったんは戻したものの、どうも気になってもう一度手にとるともう戻せず、その本も一緒に買うことになりました。物としての本は、さまざまな構成要素があり、用紙の種類はもちろん、その製本工程でも、紙同士の相性、接着の具合によって、開き加減も変わってくるそうです。乾燥した季節の影響を受けることもあるそうです。弊社書籍も電子版でご購読いただく割合が少しずつ増えてきていますが、1冊の本が人の手に渡るということは大事な一期一会だということに、思いを巡らします。冊子版でも電子版でも、良い内容をお届けしたいという気持ちは変わりありません。電子版では特にマニュアルラインナップが好評です。用途にあわせてご利用ください。

● 広告一覧

医学書院…593, 644

医書ジェービー…657

金原出版…691

日本医事新報社…567

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話: 編集部 03-5804-6057 FAX: 編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: <http://www.medsico.jp> Eメール: hospitalist@medsico.jp
振替: 東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱 メディカルブレーン 電話03-3814-5980
日本医学広告社 電話03-5226-2791
文京メディカル 電話03-3817-8036
福田商店広告部 電話06-6231-2773

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。